



鈴木町長から定住奨励金を受け取る前川さん

定住と新婚生活を応援 3世帯に奨励金を交付

2月3日、定住奨励金と新婚ライフサポート金の交付式が町長室で行われ、町に1ターンで定住した2世帯と新婚1世帯が出席。鈴木重男町長から移住者への奨励金と新婚世帯へのサポート金（くずまき商品券）が贈られました。鈴木町長は「定住を心から歓迎します。町は若い方々の定住に全力で取り組んでいます。葛巻の魅力積極的に情報発信していただきたい」とあいさつしました。昨年4月に紫波町から転入し、葛巻高原食品加工(株)に勤務する前川真生さん(29)は「奨励金はとてもありがたい。職場や地域で、温かくパワフルな方々に囲まれ、町民の一員として町の活性化のために頑張ります」と意欲満々です。

心ゆくまで仲間と堪能 森のワインパーティー

くずまきワイン主催の「第27回高原のタベ森のワインパーティー」は2月5日、モウモウ館で開催されました。町民ら約150人が参加。職場の同僚や友人との会話を楽しみながら、ワインやブランデー、山ぶどうジュースを使ったカクテルなど、30種類以上のドリンクと種類豊富な料理の数々を心ゆくまで堪能しました。ステージでは、よしだかずをさんと濱守栄子さんがライブを展開。懐かしい楽曲と美しい歌声に来場者は酔いれました。このほか、岩手大学生を中心とした「岩手ストリートパフォーマンスクラブ」がジャグリングなどのパフォーマンスを披露し、会場をより一層盛り上げました。



声高らかに乾杯する参加者④、ゲストのよしだかずをさん



好天に恵まれ牧場満喫 家族で楽しむ冬まつり

第8回くずまき高原牧場冬まつりは2月6日から7日まで、同牧場で開催され、多くの来場者でにぎわいました。「全てが家族で楽しむ体験型冬まつり」をテーマに、雪を利用した体験型コーナーが数多く設けられました。タイヤチューブロング滑り台やスノーモービルでは、子どもたちが寒さを忘れて遊び、牧場の風を満喫。焼き肉を提供したアイスハウスレストランも人気を集めました。恒例の雪中綱引き大会や氷上カーリング大会、雪盛り上げ大会、雪中宝さがしには、町内外から多くの親子連れなどが参加。雪に触れ、思いっきり遊ぶ子どもたちの歓声が牧場いっぱいに響き渡りました。



好天の下、氷上カーリング大会④とタイヤチューブロング滑り台を楽しむ親子連れ



すずらん工房の作業内容や社会参加の仕組みづくりを紹介する藤岡所長



藤岡徹さんが工房紹介 人権擁護委員の研修会

滝沢市、八幡平市、雫石町、岩手町、葛巻町の人権擁護委員で構成する盛岡人権擁護委員協議会岩手部会の研修会が2月16日、総合センターで行われました。会員ら約30人が出席。当町の人権擁護委員で、精神障がい者福祉作業所「すずらん工房」の藤岡徹所長（新町）が「障がいを持つ方々の社会参加について」と題して講演しました。藤岡所長は、コーヒー販売や焼き鳥店経営などの接客を含む工房の作業内容のほか、障がいを持つ方の雇用拡大や社会参加の仕組みづくりについて紹介しました。研修前後には、工房の挽きたてコーヒーや炭火焼き鳥が振る舞われ、出席者から好評を得ていました。



大勢の子どもが参加した「雪中宝さがし」。宝を目指して勢い良くスタートを切る子どもたち

7体の巨大雪像が出現 活気あふれる雪まつり

まちなか活性化協議会（吉澤信光会長）主催の「まちなか雪まつり」は1月31日、葛巻小学校隣の中央公園広場で開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。会場には町中心部の5自治会、第3セクター、役場が制作したアニメキャラクターなど高さ4～5mの雪像7体が立ち並び、夜にはライトアップされ来場者の目を楽しませました。雪中宝探しなどのイベントも行われ、子どもたちの元気な歓声が響き渡り、屋台では甘酒やホットワイン、おでんなどが振る舞われ、来場者の体を温めました。「まちなか雪像コンテスト」の表彰式も行われ、アイデアいっぱいの入賞者の努力をたたえました。